

## 2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	関西福祉大学市橋研究室 ボランティア学習グループ
活動テーマ	不登校の子ども等支援を要する子どもを対象とした地域防災ネットワーク支援活動



関西福祉大学市橋研究室ボランティア学習グループの「学生支援団体 tunagu」は、赤穂市青少年育成センターのスクールソーシャルワーカー及び赤穂市地域活動連絡協議会と連携して、不登校の子どもたちにとって、災害が発生したときにも安心して集うことの出来る居場所づくりの活動（ピアサポートまる）を継続して実施致しました。ピアサポートまるは、2018 年度に 20 回古民家で実施しましたが、パソコン教室や料理の活動を通して、他者との相互の交流が生まれるよう心掛けました。また、赤穂市地域活動連絡協議会が H29 年度から実施している「あこうこども食堂」の取組と連携し、子どもの置かれた多様な環境に目を向けつつ、安心して話せる居場所づくりの活動をめざしました。

成果として、古民家を活動の拠点とすることで、地域の様々な援助資源となる人々（社会福祉協議会、こども食堂主催者、青少年育成センターSSW,要保護児童対策協議会メンバー、児童委員等）と地域のネットワークを形成することによって、いざというとき地域の防災力の向上に貢献できるものと思われま。

将来、子どもに関わる仕事に就こうとしている学生たちにとって、放課後デイサービスの児童指導員、こども食堂主催者、市の子育て支援課、児童委員、青少年育成センター、スクールソーシャルワーカー、社会福祉協議会、要児童対策協議会の委員、そして学校の教員と、子どもを見守る地域の援助資源の存在を知るだけでなく、援助資源同士のネットワーク形成の方法や多職種間での連携の在り様を体験的に学ぶ機会を持ち、これを赤穂市や神戸市だけの体験に留めるのではなく、学生たちが他の自治体で勤務したり居住したりする場合にも活用できる視点を身につけることができました。